

2024年11月17日 主日礼拝 <収穫感謝祭・こども祝福式>

司 会 ①浅井兄 ②笠松兄 ③原兄(福原姉)
祈 禱
奏 楽

賛 美 聖歌322番「まげや種をあしたはやく」
(みんなで共に祈ろう)(イエス様についてゆく)
3つの愛・365日信仰宣言

聖 書 ① マタイによる福音書7章7～12節 (P9)
② コリント人への第二の手紙4章7～10節 (P281)
③ ヨシュア記1章1～9節 (P301)

音 楽 WINGS(V)

メッセージ ① 「求めれば与えられる」 久保田豊副牧師
② 「測り知れない力」 大川従道牧師(V・58才)
③ 「どこに行っても成功する」 大川従道主任牧師

賛 美 「うれいと罪より救われたれば」(聖歌703番) 献金
頌 栄 「主にハレルヤ！」 アーメン
祝 禱

「ただ、強く、大いに雄々しくあって、わたしの僕モーセが命じた律法をすべて忠実に守り、右にも左にもそれではならない。そうすれば、あなたはどこに行っても成功する。」
(ヨシュア記一章七節・新共同訳)

【大和ニュース】

☆「収穫感謝礼拝」山の幸、海の幸、すべての幸を天のお父さまに感謝します！

☆「子供祝福式」。2年生以下の子どもたちのため祝福を祈ります。(プレゼントあり)

・ 本日、モーセ・ヨシュア・ハンナ・ルツ合同賛美集会(12時45分・泉チャペル)、
青年・学生・中高生集合！第4礼拝は船山師「イエス様流の生き方」18時。

・ 祈禱会を大切に！水木、説教は小山先生(聖霊大学・聖餐式)。木曜ナオミ会、ヌイヌイ。

・ 土曜日は花盛り！アブラハム会駐車場掃除(9時)、会堂掃除(12時)、
聖歌隊練習(13時半・泉チャペル)。*バザー感謝！売り上げは151,110円でした。

* 主日礼拝人数 ①83人(195) ②226人(201) ③259人(239) ④21人=1224人
定例祈禱会 水曜63人(134) 木曜123人(70)=390人 ※()内は YouTube のライブ人数

石の枕

私がカトリックの方々と仲良くしたいと決心したのは、ガラテヤ人への手紙5章22節にある「御霊の実は、愛、喜び、平和——」から導かれました。先週は日本の代表的神父様とテレビ対談をしました。わざわざ長崎から来られ、上智大学での対面でした。今年2月5日の「26聖人殉教の地」で、お会いしたのですが、今回初めて深くお交わりいたしました。大成功でした。

異端の方々との交際は遠慮しますが、「違いの分かる男」「違いが少々あっても、平和の関係ができる」ことは、主の喜びである、と確信しています。

来年2月5日が楽しみです。是非お祈り下さい。

カトリックの代表的作家に曾野綾子さんがおられます。時々心を痛めることがあります。教えられることは多くあります。以下は最近の心に留まった文章です。（「心に迫るパウロの言葉」より）

老化と病気とは、どこで切り離したらいいか私には分からないが、うまく年を取っている人はそれほど多くはない。老年というもののほど勇気のいる時代はない。しかもその勇気も外に向かって闘争的に働きかけるものではなく、自分の中に沈潜する勇気である。そしてパウロの手紙の中には、老年がゆくてに見える頃になって、初めて理解できるのではないかと思われる幾つかの言葉もある。

その一つは「コロサイ人への手紙2章6～7節」に出てくる。「あなたがたは、主キリスト・イエスを受け入れたのですから、キリストに結ばれて歩みなさい。キリストに根を下ろして造り上げられ、教えられたとおりの信仰をしっかりと守って、あふれるばかりに感謝しなさい。」

実は私はこの最後の言葉が好きなのである。感謝は現実問題として、若い世代ではあまり身につかないものである。若い時には、自分に与えられた好意や幸運を、なかなか正當に評価することができない。よく結果が出たのは自分の素質や努力の結果だと思いがちなのである。しかし次第に人生が見えてくると、人間が自分でなしうるのは、多くの場合与えられた偶然に乗っかっての結果だと言うことが分かってくる。すると、「あふれるばかりの感謝」が、自然にできるようになる。（続きは次回）

宿題（祝大） 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！
Aコース：ヘブル12章～ヤコブ5章 Bコース：エゼキエル16章～31章